

編集 後記

新年度を迎え、新たな気持ちでスタートされた会員の方も多くいらっしゃると思います。第60巻第4号をお届けしました。

本号は「公衆衛生活動報告」1編、「研究ノート」4編のほか、今回改訂された投稿規定を掲載しています。5編の論文とともに、是非、新しい投稿規定もお読みいただくと幸いです。なお、これから新たに本誌へ投稿する場合は、今回の改訂版に則って原稿を執筆してください。

今回の投稿規定改訂のポイントの一つは、「公衆衛生活動報告」の明確化です。1994年6月の投稿規定改訂の際、現場からの投稿数をできるだけ増やしたいという意図のもとで「公衆衛生活動報告」が独立しました。それから20年弱が経過し、今まで以上に現場の方々が「公衆衛生活動報告」に投稿しやすくするためにはどうしたらよいか、編集委員会で検討を重ねてきました。その結果、「公衆衛生活動報告」の位置づけを投稿規定で明確にすると同時に、その内容を例示することにしました。

「公衆衛生活動報告」は、“自治体や地域団体等、公衆衛生の現場の方々が日々の活動を通じて得た知見であって、類似する活動を他の地域で実施しようとする際の参考となるように、活動内容の特徴、活動の結果や継続性・資金や人材の効率性の特徴、得られた教訓や課題等に関する報告”と位置付けています。新しい投稿規定には「公衆衛生活動報告」の構成例が表に示されています

次号予告 (第60巻・第5号)

原著

コミュニティセンター「かながわレインボーセンター SHIP」の夜間 HIV/STIs 即日検査相談を受けた MSM (men who have sex with men) の特徴及び罹患率……………井戸田一朗, 他
『介護予防チェックリスト』の虚弱指標としての妥当性の検証……………新開省二, 他
市町村統括保健師の役割遂行尺度の開発……………鳩野洋子, 他

研究ノート

独居高齢者見守りサービスの利用状況と利用意向……………小池高史, 他
WHO-5 精神健康状態表簡易版 (S-WHO-5-J) の作成およびその信頼性・妥当性の検討……………稲垣宏樹, 他

が、報告の内容や目的によって構成が異なることも想定しています。活動報告をどのような構成にすれば、読者にとって有用で情報共有しやすい「公衆衛生活動報告」となるのか、表中の例を参考に検討・工夫していただければ幸いです。

もちろん編集委員会はこれまで同様、査読委員の方々の力をお借りしながら、教育的査読を通じて、わが国の公衆衛生の発展に寄与する論文を発信していきます。公衆衛生の現場の方々からのより多くの投稿をお待ちしています。(石崎達郎)

第59回東海公衆衛生学会学術大会のご案内

- 開催日 平成25年7月20日(土)
- 場所 掛川市徳育保健センター・小笠医師会館(静岡県掛川市御所原9番28号)
- 大会長 松井三郎(掛川市長)
- 内容
 - メインテーマ「健康を支え、守るための社会環境の整備」
 - 特別講演「世代間交流を通じたソーシャルキャピタルの醸成～Win-Winの地域づくりへ～」
 - 講師 藤原佳典氏(東京都健康長寿医療センター)
 - シンポジウム「健康を支え、守るための社会環境の整備」
- サテライト集会 いきいき東海(いきいき公衆衛生の会東海)
- 参加費 会員:1,000円 非会員:2,000円 学生:500円
*学生区分は、大学生及び専門学校生(大学院生は含みません)。
- 演題募集 東海公衆衛生学会ホームページの第59回学術大会のページより、様式をダウンロードしてメールで大会事務局にお申してください。
 - 演題申込締切 平成25年5月7日(火)
 - 抄録原稿締切 平成25年6月3日(月)
- 大会事務局
 - 運営事務局 掛川市健康福祉部保健予防課
〒436-0068 静岡県掛川市御所原9番28号 TEL:0537-23-8111
 - 学術事務局 浜松医科大学健康社会医学講座
〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山1-20-1 TEL:053-435-2333
 - E-mail: tpha2013@umin.ac.jp (事務局共通)
- 学会HP: <http://tpha.umin.ac.jp/>